

# 当別町内における幼児向けMM教育の実践

工藤 みゆき<(一社)北海道開発技術センター>、土井 大輔・大石 和彦<当別町企画部美しいまちづくり課>、渡辺 利奈

## 当別町の概要

### 地理

札幌市と境界を接し、札幌都心部から約15~25kmに位置



### 人口

18,701人  
(男性:9,069人 女性:9,632人 世帯数7,787)  
[平成22年10月1日当別町統計データより]

### 地域交通

平成17年まで

- 一般住民対象のバス路線はわずか2路線(当江線・青山線)
- 送迎等の独自の目的によるバスは多く走っているが、一般住民が利用できない。

地域住民の生活交通は整備されているとは言えなかった

市街地が、JR駅を中心に二極化(当別駅市街地と太美駅)

路線バス・福祉バス(一般住民)

医療機関等送迎バス(患者・学生)

地域限定住民送迎バス(限定住民)

一元化 平成18年4月より実証運行開始

平成21年度  
国土交通大臣賞受賞



当別コミュニティバス「当別ふれあいバス」  
(特定の対象者なし)

## プロジェクトの概要

- 当別町のMM教育の新たな試みとして、幼児向けのMM教育に「紙芝居」を導入。
- 町内の保育士の協力を得ながら、子どもたちが興味・関心を引く内容を検討。
- 紙芝居は当別ふれあいバスをテーマとして、「環境問題」への意識啓発や「社会性の形成」を目指す内容。

### 当別ふれあいバスシリーズ①「みんなのふれバ」



### 当別ふれあいバスシリーズ②「笑顔のリレー」



本ツールを活用した試行については、保育士の協力を得て、町内の保育所にて実演  
・4~5歳クラス(30名)  
・3歳クラス(7名)



## まとめ

- MMは様々なライフステージに応じて、適切に実施することが重要と考えられ、そのコミュニケーション方法や使用するコミュニケーションツールもその対象を見極めて実施する必要性が高いと考えられる。
- この点において、学校未就学の幼児に対してのMMの実践は一定の成果があったものと考えている。
- 今後は、新たなMMについて、積極的に導入を検討するとともに、『地域に愛されるバス』を基本理念として、継続的に展開していきたいと考えている。

[本ポスターに関するお問合せ]  
■氏名:工藤 みゆき  
■住所:札幌市中央区南1条東2丁目11番地  
■TEL:011-271-3022 E-MAIL:m-kudo@decnet.or.jp

